

「第17回東京国際映画祭 - 東京デジタルシネマ・シンポジウム 2004」における
JGN II イベント利用報告書

平成 16 年 11 月 4 日
NTT 未来ねっと研究所

1 イベント名

「東京国際映画祭におけるデジタルシネマ伝送実験デモ」(イベント番号 017)

2 イベント概要

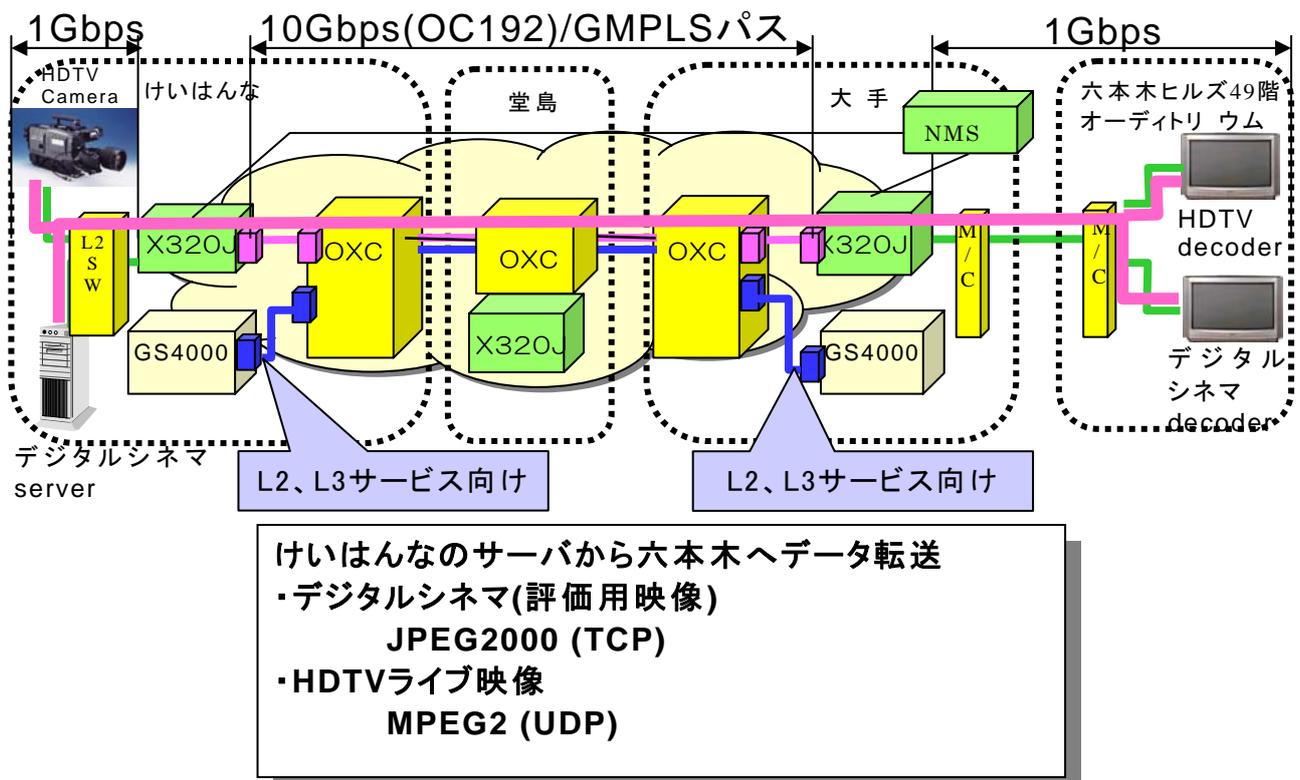
本イベントはデジタルシネマ実験推進協議会(DCTF, 東京大学青山教授が会長)主催によるもので、ネットワークを利用したデジタルシネマ伝送の有効性をアピールするイベントとして、主に映画関係者向けに行われた。本イベントを成功させる事で、広帯域アプリケーションに対する JGN II の有効性をアピールすると共に、そのトラフィックデータを取得する事で、ネットワークの特質などを確認する基礎データ収集し、今後のネットワーク運用管理手法の確立に役立てる事を目指した。

シンポジウム内容(抜粋)

- ・ハリウッドおよび欧州のデジタルシネマ関係の要人の講演とパネル討論
- ・JGN II を利用した遠隔地からの 4K テスト映像配信
- ・フル 4K で制作された最新映画のデジタル上映(一部のみ)

3 JGN II 利用の概要

イベント会場である六本木ヒルズ 49F オーディトリウムに対して、JGN II 拠点である NICT けいはんな情報通信融合研究センター(以降では単にけいはんなとする)から関東基幹通信網構成拠点 A(以降では単に大手町とする)を経由して、デジタルシネマ及び HDTV のライブ映像を伝送した。JGN II では、X320J(ルータ)を用いた 1 波長を占有した GMPLS パス上での伝送である。ネットワーク構成図は以下の図の通りである。



*JGN II 利用経過

9/30: 大手町現局調査

10/1: けいはんな現局調査

10/6-7: けいはんな→大手町のデジタルシネマ、HDTV 伝送事前確認。大手町へデジタルシネマ・デコーダ持込みによる。

10/21: けいはんな→六本木のデジタルシネマ、HDTV 伝送事前確認

10/25: けいはんな→六本木のデジタルシネマ、HDTV 伝送確認。前日準備。

10/26: デジタルシネマ・シンポジウム本番。けいはんな→六本木のデジタルシネマ、HDTV 伝送

4 イベント参加人数

約 150 名。

5 実施の評価等

10/26 当日は会場が満室となる程の盛況なイベントであった。NTT 未来ねっと研究所藤井氏による講演の中で JGN II を用いた伝送を行う事が説明された。講演の最後に 12 分程度のデジタルシネマ評価用の映画をけいはんなに設置したサーバから JGN II 上を伝送し、大手町から六本木へ伸びるメトロイーサを介して会場の巨大スクリーンに投影した。映像上の問題は確認されず、伝送に成功した。その後、けいはんなからの伝送である事を示すために、HDTV によるけいはんなのライブ映像を同じく JGN II を介して伝送し、これも成功を収めた。

大手町においては、NMS(ネットワーク・マネージメント・システム)から SNMP(Simple Network Management Protocol:RFC1098)にて、けいはんな、大手町両方の X320J(ルータ)の入出力のトラフィックデータを取得し、広帯域なアプリケーションの伝送によるネットワークの特質を知るための基礎データを収集し、今後の検討につなげる予定である。

今回のイベントに対しては、事前確認を念入りに行った結果、本番ではネットワークを介したストリーム配信である事を全く意識させる事なく上映を行い、参加者には、ネットワークを介したデジタルシネマ配信の可能性を認識して頂くと共に、このような実験環境を提供できる JGN II の有効性も認識されたと考える。

本イベントの成功は NICT けいはんな情報通信融合研究センター並びに JGN II NOC の方々のご協力の賜物であった。ここに感謝いたします。

6 開催模様

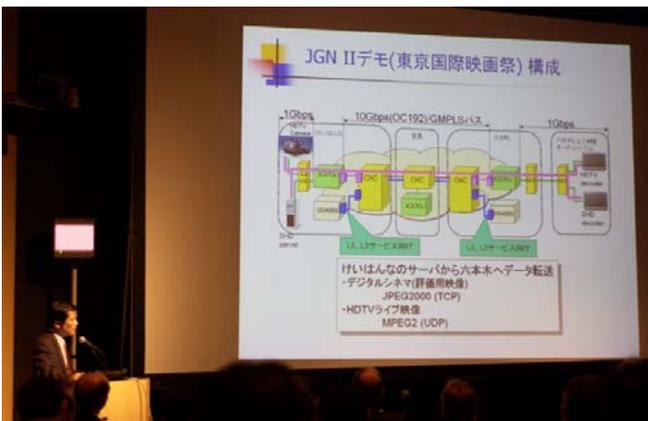
「第17回東京国際映画祭 – 東京デジタルシネマ・シンポジウム 2004」開催模様



主催者挨拶
(デジタルシネマ実験推進協議会
会長 青山東大教授)



ご来賓挨拶
(総務省総務審議官 松井様)



JGN II による伝送デモ説明
NTT 未来ねっと研究所 藤井氏



参加者集合写真



大手町作業風景



けいはんな作業風景